

丹沢縦走（鍋割山・丹沢山・丹沢三峰）山行報告書

（山域） 丹沢：鍋割山・塔ノ岳・丹沢山

（日時） 2月10日（土曜日）～2月11日（日曜日）

（コース） 2/10：寄（やどりき）～栗ノ木洞～鍋割山～塔ノ岳～丹沢山（みやま山荘）

2/11：丹沢山～丹沢三峰～本間ノ頭～金冷シ～宮ヶ瀬三叉路

（天候） 2/10：晴れ後、曇り 2/11：曇り後、晴れ

（参加者） C L：内堀（記録）・S L：田中・佐藤・澤田路・宮城

（山行タイム）

2/10：寄 8:55～栗ノ木洞 11:00～鍋割山 12:40～丹沢山 14:45～丹沢山 16:05

2/11：丹沢山 6:50～円山ノ木頭 8:17～本間ノ頭 9:03～金冷シ 10:40～宮ヶ瀬三叉路 12:40

（山行報告）

2月10日（土）

私（内堀）はJR佐倉駅で佐藤車と待合せ、千葉駅北口に向かう早めに到着して、メンバーの到着を待つと、次々と集まり最後は田中さんが集合して出発する。湾岸千葉まで下の道で進み、湾岸線より首都高に入り中央環状線から東名道に進む。渋滞も無く順調である、海老名SAで休憩して大井松田ICに向かう。高速より富士山がクッキリ見え青空が見えている。ICより新松田駅は近く早く到着する。駅前の駐車場に停め準備をして、バス乗り場に向かう。反対側のため線路を渡る道路が見つけられず、新松田駅陸橋に向かうがお金を払わないと行かず、道を探しバス乗り場に向かうと、丁度、寄行きバスが発車してしまった。スムーズに着ていたならば間に合っていた。

30分待つて8時25分のバスに乗り寄（やどりき）に向かう。寄はロウバイ祭りであった。寄にて登山靴をしっかりと閉め、スパッツを装着して、出発する。車道を進みロウバイの香りを楽しみながら登山道の入口に吸い込まれる。車道を1回跨ぎ登り続けるとくぬぎ山を通過して栗ノ木洞に到着する。ここに来ると北斜面から雪がある。下りは慎重にと軽アイゼンを装着して一気に下ると後沢乗越に到着する。また、登りになると南斜面であり軽アイゼンを外し登る。男性陣はチェーンアイゼンで女性陣は6本歯アイゼンである。途中、鍋割山が見えあと少しと思い歩き続けると、そこは、鍋割山である。山頂は人込みもあり、若い人が多くTV・ネットで拡散された影響が鍋焼きうどんを注文して食べている方が沢山いる。本日の待ち時間は10分～20分程度であり、田中さん曰く少ないほうであるとの事。鍋割山頂にて昼食タイムにて、ひと時の休息を取る。時間も無いため、鍋割山を後に塔ノ岳を目指す。この先、アップダウンもあり雪が多くなるため軽アイゼンを装着する。小丸・大丸を抜けてようやく塔ノ岳に到着する。この時まで青空が見える場所がある。山頂は少し風があり、寒さを感じる。この時間になると登山者は殆どいない。記念撮影を済ませ、富士山は裾野が見える程度である。小屋脇の所で暫し休憩をして丹沢山を目指す。16:00には到着出来るかなと心配となり、出発するが、アップダウンがあり中々到着しない。日高を抜け竜ヶ馬場を過ぎてようやく、丹沢山の全貌が見え、みやま山荘が見えたときは、後少しと思い最後の日と踏ん張り頑張り到着する。本日最後の記念撮影を済ませ、小屋に入り宿泊手続きを行う。小屋は小奇麗で暖かい。2階に荷物を置き担いで来たお酒を出して、1階に下りて酒盛りを始める。今週、天候が悪いとの情報からお客様は少なく、一人で布団一つ、何個も布団が余っていた。今日は宿泊客がいなくてラッキーである。佐藤さんとビールで乾杯して気合が入った頃、田中さんが参加、その後、女性陣が加わり酒盛りが始まる。寝不足と久々長い行程で酔いが早い。ビール・焼酎・ウイスキーと続き、酔っ払いも拍車を掛けドンドン吸い込み、かなりやばくなった時、夕食のコールが掛かり食堂に向かう。夕食は焼肉（陶板焼き）である。野菜、肉を乗せ肉の焼けるのを待つ。肉が焼け、一気に夕食を平らげた。2階に上がり、また飲むかと思いきや、そのまま、寝てしまい本日終了。部屋は暖かく、朝までゆっくり寝る事が出来ました。



2月11日(日)

早朝 5:30 頃に起きると、昨日早く寝たせいか、皆さんも同時に置き、ザック中身含め片付け出発の準備が出来るよう行う。朝食のコールと思い1階に降り、食堂に入るがまだであった。ほんの少し待ったあと、食堂のドアが空き、朝食のコールが掛かる。一番に食堂に入り、ご飯を茶碗に乗せ、味噌汁を注ぎ、朝食の準備完了。本日の朝ごはんは五目御飯と味噌汁、きんぴら、卵焼きと本日も美味しい食事である。外はガスが掛かり朝の状況がわからない。食後は各自、出発の準備を進める。登山靴、スパッツを付けた所で、外に出て軽アイゼンを装着して、青空が見えガスが少なくなり、正面の富士山が見えると思い、向かうが裾野しか見えない。見ている少し間、この雲が無くなり富士山が見る。今日は付いていると思い、写真に収め出発する。看板には宮ヶ瀬方面 11Km とある。結構本日も長そうです。歩いて直ぐに太陽が上がり空は焼けている。丹沢三峰方面は北斜面のため、昨日来たルートより雪の量が遥かに多い。2 倍程度ある。アップダウンが続き、瀬戸沢ノ頭・大礼の頭・円山木ノ頭を通過する。下りもあるが上りもあるね。中々、高度を下げない。本間ノ頭を通過してそこから一気に高度を下げる。南側のトラバース道を通り、金冷シを通過する。危険とあるが無事通過する。途中、休憩を挟み行動食を入れエネルギーを入れる。高畑山を巻き道で進む。高度も下がり雪も減ったため、軽アイゼンを外し進む。途中、21 名のグループが上がって来る。本日、みやま山荘団体さん宿泊と言っていた。今この時間、日があるうちに着くのだろうか心配するが、頑張るしかないね。緩い下りが続き、雪が出てきても、問題なく下山が出来る。途中何箇所か、氷になっており、危ない箇所を無事通過する。12:50 のバスに乗れるか心配したが、車道が見え三叉路に到着したときはホットして、本日の終了を告げる。お昼を回った時間である。予定通りバスに乗り、本厚木駅に到着して、小田急に乗り新松田駅にロスタイムなく到着する。車を回収して渋沢にある、湯花楽：秦野店に向かい、二日分の汗を流す。東名道の渋滞も想定して、入浴後、ここで早い夕食を食べ、東名道の渋滞も軽く、順調に進み帰業した。

入浴後、ダウンを探すも登山道で紛失したようである。ザックの奥から食事を出す際、ダウンを出した記憶が出てきた。多分、あそこの場所に置いたな思い、本日は結局付いていると思ったが、ついていたなかった様である。無事下山できた事が良かった不明である。あのダウンも山の中で朽ち果てるか、誰かに拾われ違うご主人に使用して頂くかは、知る由も無い。





以上